

様式第二号の八(第八条の四の五関係) ※前年度、産業廃棄物発生量 1,000 t 以上の使用様式

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 6日	
山梨県知事	殿
提出者	
住 所 山梨県中央市高部1111-1	
氏 名 シャトレーゼ豊富工場	
代表取締役 古屋 勇治	
電話番号 055-269-3511	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 シャトレーゼ 豊富工場
事業場の所在地	山梨県中央市高部1111-1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	生菓子製造業【産業分類No. 0972】
② 事業の規模	売上高 380億円
③ 従業員数	500人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり 別添1

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙のとおり 別添2		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組)	
		別紙のとおり 別添3
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
		別紙のとおり 別添3
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	別紙のとおり 別添3	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	別紙のとおり 別添3	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙のとおり 別添3			
※事務処理欄			

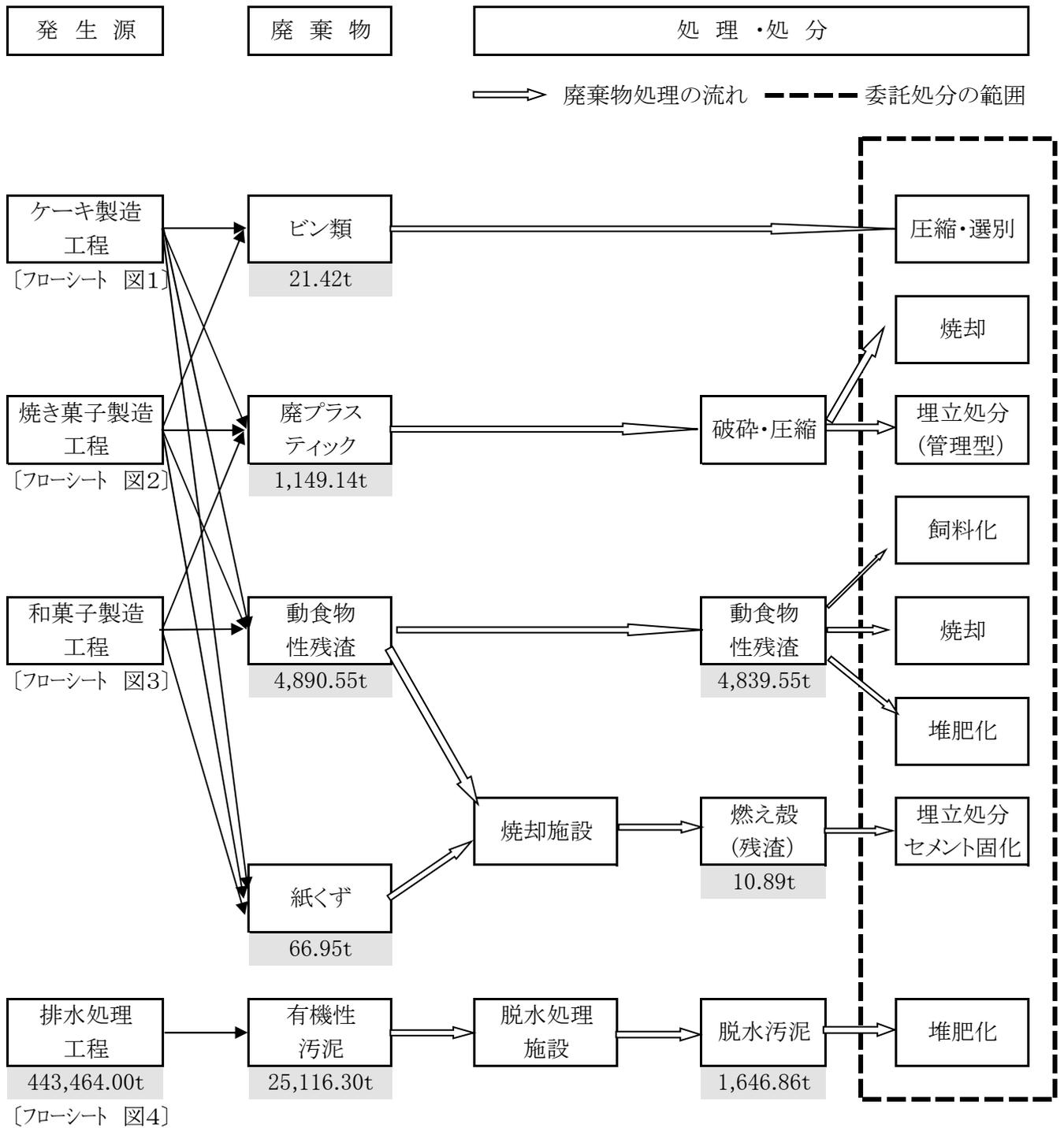
(第6面)

備考

(第1面)～(第5面)について(法で定める事項)

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 ④産業廃棄物の一連の処理の工程



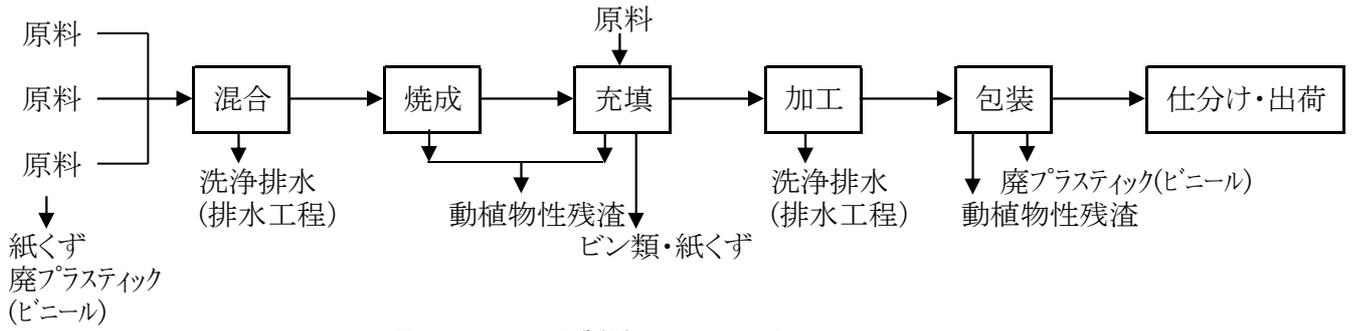


図 1 ケーキ製造フローシート

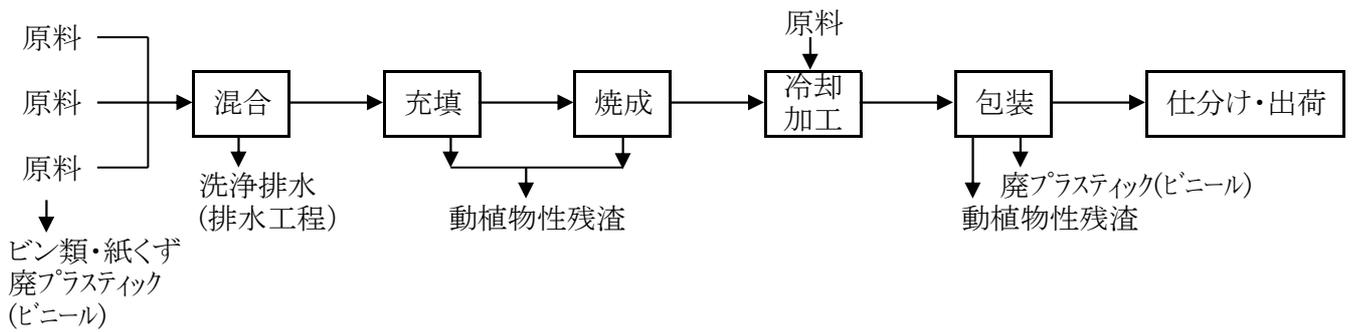


図 2 焼き菓子製造フローシート

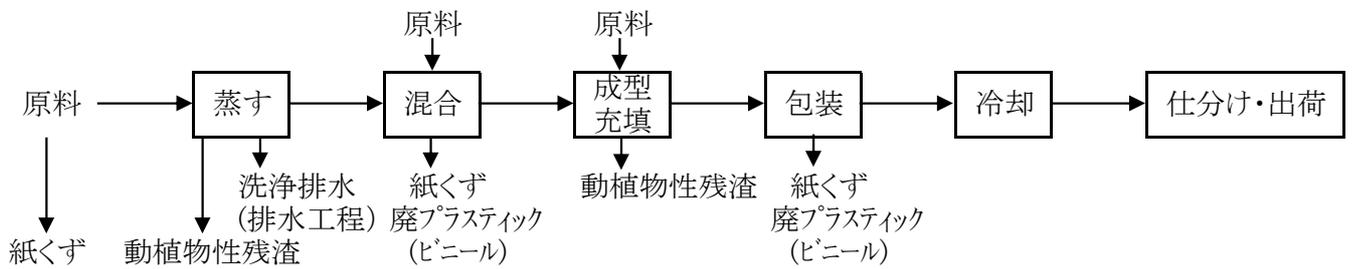


図 3 和菓子製造フローシート

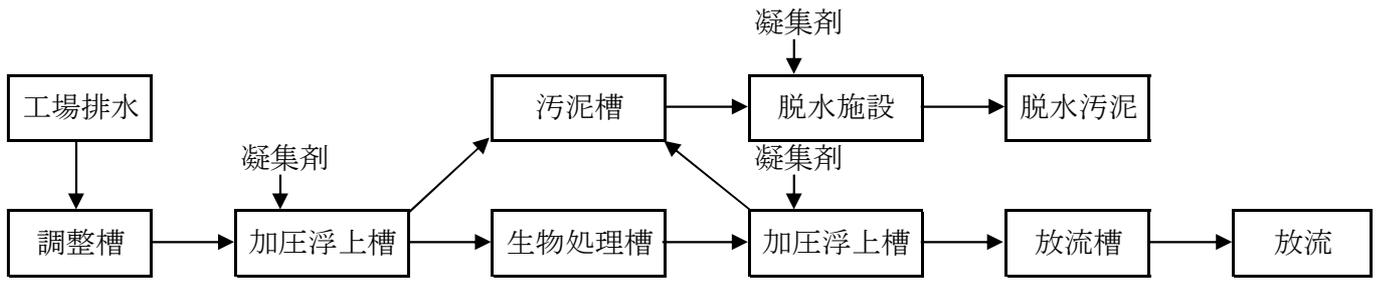


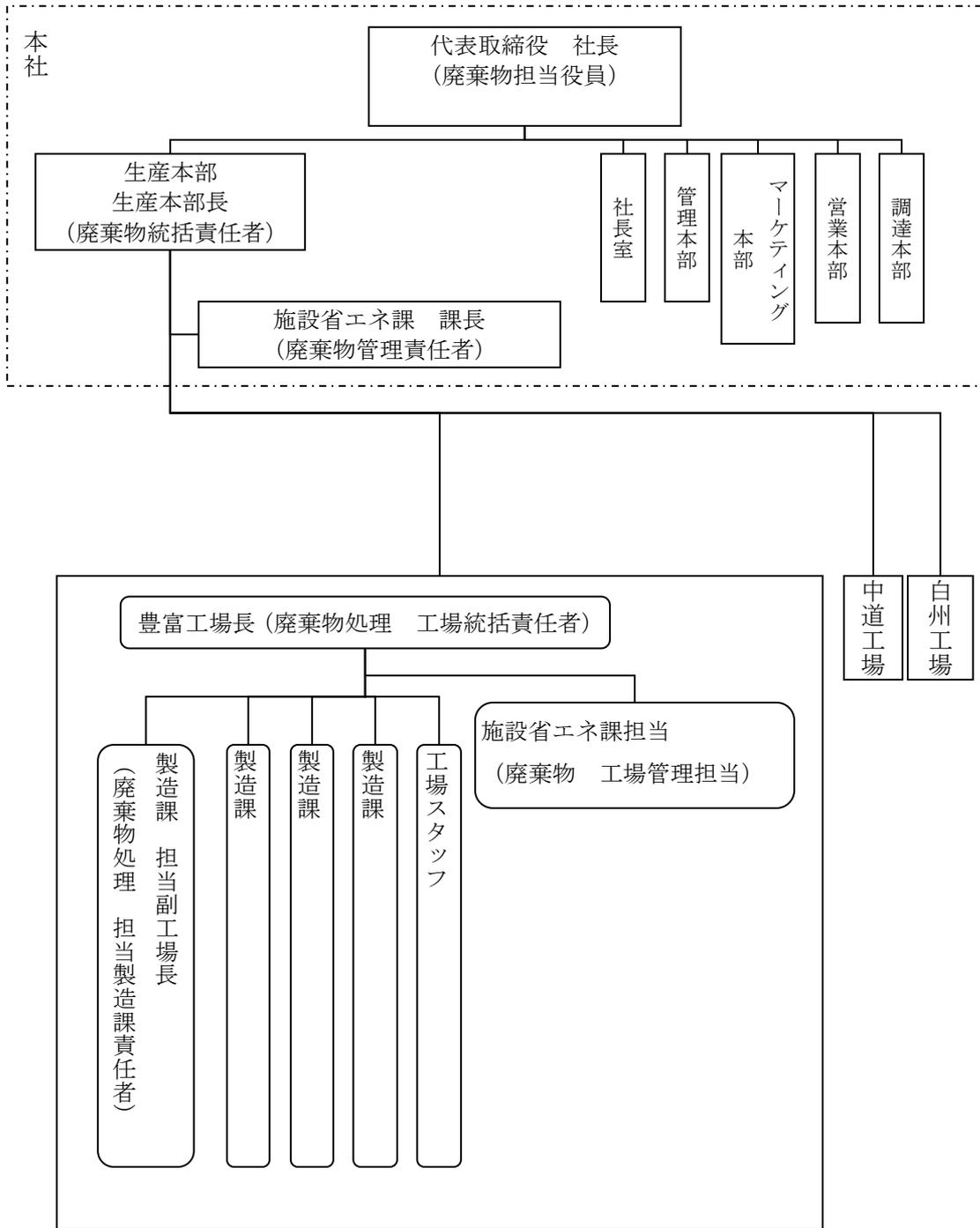
図 4 排水処理フローシート

別添2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

代表	職・氏名：代表取締役 社長	
統括責任者	所属：生産本部 職・氏名：本部長	
廃棄物担当	組織名：施設省エネ課 職・氏名：課長 施設省エネ課 氏名：職長 組織人数：7名	
役割	統括責任者 (生産本部長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物処理方針の策定 ● 廃棄物に関する各種事項の決定、承認
	管理責任者 (施設省エネ課課長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 処理業者・再利用業者の選定・委託契約の締結 ● 産業廃棄物の処理量把握 ● 産業廃棄物処理状況の確認 ● 産業廃棄物削減活動 ● 従業員に対する教育
	工場統括責任者 (工場長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場廃棄物処理方針の策定 ● 工場廃棄物に関する各種事項の決定、承認 ● 工場廃棄物量の把握と改善策の検討
	担当製造課責任者 (副工場長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当製造課内の廃棄物量の把握と改善策の検討・実施 ● 担当製造課メンバーに対する教育・啓発 ● 他製品に活用する商品開発
	工場管理担当 (施設管理担当)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場廃棄物量の把握と改善策の検討・実施 ● 産業廃棄物処理管理表の交付・管理 ● 産業廃棄物処理計画の策定 ● 工場従業員に対する教育 ● 監督官庁への報告 ● 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理 ● 廃棄物の分別 ● その他関係する事項

廃棄物管理組織



産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	<p>【前年度（2023年度）実績】</p> <p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>廃プラスチック類・・・有価物として再利用</p> <p>動植物性残渣・・・・・・運搬車両を大きくし、腐敗しやすい廃棄物を飼料化</p> <p>空 瓶・・・・・・色分別実施中</p>
	<p>【目標（2024年度）】</p> <p>（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>廃プラスチック類・・・継続して分別再利用・新規再利用先の検討</p> <p>動植物性残渣・・・・・・有価飼料としての再生</p> <p>空 瓶・・・・・・色分別継続</p>
②計画	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度(2023 年度) 目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標(2024 年度)】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（2023年度）実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣		
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	23,469.44t	0.0t	0.0t	46.29t	
(これまでに実施した取組) 脱水助剤による含水率の低下 脱水機の整備						
【目標（2024年度）】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣		
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	22,500.00t	0.0t	0.0t	50.00t	
(今後実施する予定の取組) 分別による焼却 排水薬品の変更による減量化 焼却炉の定期整備						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度(2023年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣	
	全処理委託量	1,646.86t	1149.14t	10.89t	4,844.26t	
	優良認定処理業者への処理委託量		1149.14t	10.89t	1,018.49t	
	再生利用業者への処理委託量	1,646.86t			3,825.77t	
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(これまでに実施した取組)					
	有価物事業者への売却					
	分別等による再生利用量を増やす					
②計画	【目標(2024年度)】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣	
	全処理委託量	1,500.00t	1000.00t	10.00t	4,500.00t	
	優良認定処理業者への処理委託量		1000.00t	10.00t	500.00t	
	再生利用業者への処理委託量	1,500.00t			4,000.00t	
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(今後実施する予定の取組)					
工場分散化による生産負荷の低減						
残渣の有価物比率を上げる						
節水による汚泥排出量の削減						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(2023年度)実績】					
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣	
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
(これまでに実施した取組)					
【目標(2024年度)】					
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	燃え殻	動植物性残渣	
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
(今後実施する予定の取組)					

産業廃棄物処理計画における目標値（2024年度）

	汚泥(t)	廃プラ(t)	燃え殻(t)	動植物性残渣(t)	合 計
排 出 量	24,000.0t	1000.0t	10.0t	4,550.0t	29,560.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	22,500.0t	0t	0t	50.0t	22,550.0 t
自ら埋立て処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0.0 t
全処理委託量	1,500.0t	1000.0t	10.0t	4,500.0t	7,010.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0t	1000.0t	10.0t	500.0t	1,510.0 t
再生利用業者への処理委託量	1,500.0t	0t	0t	4,000.0t	5,500.0 t
認定熱回収処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0.0 t
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0.0 t